

第2回常磐地区まちづくり検討会 要旨

■ 日 時

令和4年5月27日（金） 18:00～20:00

■ 場 所

常磐公民館 第1会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶（都市計画課、じょうばん街工房 21）
- 3 議事
 - (1) 市街地再生に向けた検討経過について
（ワーキンググループ会議での取り組みについて）
 - (2) 多世代が集う交流拠点施設基本計画（素案）について
 - (3) 常磐地区市街地再生整備基本計画（素案）について
 - (4) 今後の予定について
- 4 閉会



■ 会議の結果

- 計画素案について、会議での意見を踏まえることで了承を得ました。
- 基本計画の策定・公表に向けて、次の段階に進むことで了承を得ました。

■ 意見交換の概要（要旨） ○：関係団体委員 ⇒：事務局・行政委員

- これまでのワーキンググループ会議の資料では、市街地再生整備の考え方として、“車中心から人・公共交通の中心へ”との記載がありましたが、本日の資料では記載がありません。基本計画では記載されますか。
⇒ 市街地再生整備の考え方については、大事なところになるので、しっかり考え方を示せるように、基本計画では記載するようにしています。
- 説明資料 P19 の多目的施設の“施設づくりの考え方”について、「比較的大規模な会議や講演会、演奏などの発表の場のほか、軽スポーツ等の多目的な活動に利用」と記載がありますが、利用用途が違うものなので、どのような施設になるのかイメージが湧きません。また、カルチャー+アクティビティの施設は何階建ての施設になる予定ですか。
⇒ 多目的施設については、具体的な使い方によって、文化的機能とスポーツ機能のどちらかの用途に寄せた施設になるという考え方があろうかと思えます。また、建物の階数については、基本計画では記載しません。今後の要求水準の作成に向けて、利用者などと意見交換を行いながら建物の階数や高さ等が決定されていくものと考えています。
- 施設づくりの考え方について、今日提示されたものは“案”とのことですが、文字だけでは分りづらい考え方もあるので、例えばイメージに近い施設等を教えていただくと分かりやすいです。
⇒ 今後の検討段階で詰めていかなければいけない内容だと思えますので、基本計画ではこのような表現でのご理解をいただきたいです。また、今後については、より具体的な

内容を示していけるようにしたいです。

- 説明資料 P29 のイメージパースについて、案内図の街区とイメージパースは“似て異なるもの”になりますので、基本計画では注意書き等の記載をしたほうが良いと思います。また、説明資料 P38 の案内図について、目印のようなものがないので、常磐地区のどの場所を指しているのか分かりづらかったです。

⇒ イメージパース及び案内図については、書き方、見せ方を工夫したいと思います。

- 駅前交通広場について、“車から人中心への転換”は決して悪いことではないと思いますが、地方は都会より交通インフラが整備されているわけではないので、駅前を利用する人の現状を把握しながら検討を進めてほしいです。

⇒ タクシー事業者やバス事業者と利用者の状況などについても意見交換を行いながら、まち庭の使い方などを含め、多くの方が使いやすい駅前空間になるように検討していきます。

- にぎわい再生事業について、おそらくリノベーションのことだと思いますが、リノベーションを行いたくてもアスベスト除去に係る費用が高額であるため実施できないという声があります。今回の計画では示す必要はないと思いますが、アスベスト除去に係る支援の検討もお願いしたいと考えます。

⇒ 現在、アスベスト除去に係る支援はありませんが、他の補助事業等（都市機能誘導施設等整備促進事業）で、ニーズにマッチできないか検討していきたいです。

- 説明資料 P47 の魅力ある街並み空間整備事業について、整備エリアの確認ですが、社会実験エリア（案）の枠の中が三函エリア、常磐支所周辺が吹谷エリアの認識でよろしいでしょうか。また、ロードマップを見る限りだと5年後には、三函エリアは整備されているとのことですが、その認識でよろしいでしょうか。

⇒ そのとおりです。合意形成を得ながら進めていくものです。

- 「多世代が集う交流拠点施設基本計画」と「全体計画」の関係性を教えてください。

⇒ 交流拠点施設の整備に係る内容については、ボリュームが多くなっているため、全体計画とは別に作成する予定としておりますが、基本的には2つの計画は横並びの計画となります。

- 説明資料 P50 に記載されている観光地域づくり事業のロードマップについて、WEBサイトを構築しただけで終わってしまっただけではもったいないので、その後の事業の進め方について、考えをお聞きしたいです。

⇒ 行政としては地域を体験しているプロモーションビデオの作成などを想定しています。基本計画はあくまで、民間と行政が連携して事業を進めていく考えを示したものでありますが、当該事業は特に民間の力が重要になってくるので、今後は講演会や勉強会、専門家などの意見を聞きながら、どのような事業を行えるのか民間と行政が連携して検討していくことが重要と考えています。

- 説明資料 P52 の目標値②について、現状値：約 18.0%は何を基に算出したのでしょうか。
- ⇒ 令和 2 年度に常磐地区にお住いの方を対象に、無作為で 500 世帯にアンケート調査を実施しました。その結果、湯本に魅力や風情を感じるかどうかの質問で、“そう思う”、“ややそう思う”と回答された方が約 18.0%でした。
- 地元の方の満足度も大切だと思いますが、湯本温泉はリピーターを増やすためにも観光客の満足度を上げることも大切だと思いますので、観光客を対象としたアンケート調査も検討していただければと思います。
- 説明資料 P34 の湯本駅前緑地・御幸山公園整備事業について、湯本駅前周辺は子どもたちが遊べる公園が無いのが現状です。今回の事業でまち庭という空間ができたとして、その空間が利用者でいっぱいだったら、御幸山公園に行く方もいるかもしれませんが、階段だと危険だと思うので、ベビーカーでも行けるようなスロープの設置を検討していただきたいです。
- ⇒ これまでの地域の方との意見交換でも、御幸山公園は子供たちの遊び場だったと聞いております。今後、引き続き地域の皆様と意見交換を行っていきながら整備内容を検討していきたいと思っています。
- 市営住宅天王崎団地の跡地について、現在、暫定利用に向けて動いているとのことですが、何ができるのが気になっている子供たちもいるので、どこかのタイミングで広報していただければと思います。
- ⇒ 常磐地区の市街地再生整備事業については、市民の方になかなか情報が伝わっていないという声をいただいているため、定期的に広報誌や回覧等で情報発信できるように検討していきたいと考えております。
- 今回の事業は、更地の場所からまちを整備していくわけではなくて、既存のまちがある中で整備を行っていくので、既存の商店を営む方や地権者に対する配慮（整備を行う目的）が資料に不足しているのではないかと感じます。
- ⇒ 今回の事業は、決して湯本駅前に公共施設を再編する事業ではなく、市街地の再生、にぎわいの再生を図っていくものであるため、基本計画ではしっかり整理して記載したいと思います。
- 滞留拠点という言葉は、会議等に参加している方だと常磐支所周辺と分かりますが、市民の方はどこの場所を指しているのか分からないと思いますので、かっこ書き等で“常磐支所周辺”と追記した方がいいと考えます。
- 湯本駅前のブロンズ像について、市の補助金や寄付を募って建てた経緯がありますので、是非有効活用していただきたいと思います。
- ⇒ 処分するということはありませんので、どこに再配置するかについて、地域の皆さんと意見交換しながら検討していきたいと思っています。
- 意見ではなく提案になるのですが、10年後を目指した事業であれば、小学生や中学生

の意見を聴いてみてはいかがでしょうか。例えば、夏休みに湯本町を題材とした宿題を出してみるなど……。行政や地域団体などが連携して行えば決して難しいことではないと思いますので是非検討してみてください。

⇒ ワーキンググループ会議でも同様の意見が出ており、10年後、20年後を見据えたまちづくりをするのであれば、子どもたちの意見は大切だと考えております。また、常磐地区の人たちの機運を高めるためにも重要なことだと思いますので、検討していきたいと思えます。

○ 常磐公民館、関船体育館、常磐市民会館については老朽化が著しいとは思いますが、これほどの大きな施設を駅前の敷地に再整備できるのかが不明です。また、公共施設が駅前に整備されることで、本当にまちはにぎわうのでしょうか。

⇒ 各施設については、現在と同規模の建物をそれぞれ建てるわけではなく、サイズダウンして各施設の機能を集約した複合施設の整備を検討しています。また、駅前に公共施設や民間収益施設を複合的に整備することにより、各施設の利用者が、他の施設やお店をついでに利用することで、まちなにぎわいに繋がることを期待しています。

○ 公共交通は福祉だと考えています。湯本駅前に魅力のある施設ができたとしても、高齢者が交通の手段がないから行けないとならないように、高齢者が外出しても行きたいと思えるように、公共交通の充実を図っていただきたいです。

⇒ 総合交通対策担当という部署で、地域公共交通計画を策定中です。その中で、常磐地区の交通のあり方、常磐地区と各拠点（平や内郷、小名浜など）をどのように結んでいくのかを検討していきたいと思えます。まちな魅力を高めることも大切だと思いますが、湯本駅周辺にどのように人を集めるのかも大切なのでしっかり検討していきたいです。